

小田原漆器が無くならないようにするために

白鷗中学校 三年 岩田 知優

皆さんは小田原漆器を知っていますか。

ほとんどの方は、聞いたことがないと答えるかもしれません。小田原漆器は、室町時代から続く小田原の伝統的な漆器です。私は、総合の授業を受け、初めて「小田原漆器」を知りました。

私が総合のときに知ったのは、後継者が少ないことや認知度が低いことです。後継者を増やすためにはどうすればいいか、また漆器の認知度を高めるためにはどうすればいいのかを考えました。

まず、認知度を高めるためにセミナーを開いたり、漆器を触ったり体験できる場所を作りたいです。また、SNSなどのインターネットで小田原市や日本、世界へと小田原漆器の良さを伝えることができます。しかしながら、小田原漆器の職人さんは高齢の方がほとんどで、SNSへのアクセスや動画などの作成が難しいというのが現状です。

それを解消するために、有名なインフルエンサーなどに頼み、拡散してもらいたいのです。

他にも、小中学生の授業で小田原漆器の良さを教え、中高生に漆器を作る体験などをしてもらえば、漆器を作りたい人や漆器についてもっと知りたい人が増えるのではないかと思います。また、後継者不足の解消に繋がると思います。

次に、漆器の技術を使った新しいアイデアについて考えました。

最近ではスマホや電子機器の普及率が上がっているので、小田原漆器の特徴である木の温もりを生かし、スマホのカバーやスマホスタンドなどの現代に合うようなものに改変していくことができると思います。しかし、スマホなどを使わないという人もいると思います。そのため、箸やスプーン、腕時計などの日常生活で欠かせないものも作ることで、更に小田原漆器の認知度が上がり、使用者も増えます。小田原に来たときのおみやげとして買うこともできると思います。

このように、若い人達が次の世代へと繋げていけば、小田原漆器の認知度が低下することはありません。小田原市民である私達が今できることは、小田原漆器への理解や関心を深め、次の世代に伝えていき、小田原漆器の伝統をここで絶やさないようにすることです。

これからの未来を担っていく私達が、一丸となつて小田原漆器の良さを伝えていきたいです。